

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 405

事務事業名	野岳湖周辺活性化イベント事業
-------	----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	観光振興課		
課長名	杉野 幸夫	内線	471
担当者名	武内 拓馬	内線	277

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040401	歴史や自然を活かした観光のまちづくり
施策		観光交流のまちづくり
関連施策		

会計	一般会計	
款	7	商工費
項	1	商工費
目	4	まちづくり推進費
事業コード	020300	野岳湖周辺イベント関連事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	観光交流都市づくり計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	裏見の滝公園管理委員会、ひがん花まつり実行委員会、のだけ新茶まつり実行委員会、観光客		
意図 対象をどのような状態にしたいか	観光客の誘客と地域の活性化を図るため、野岳湖周辺の観光資源を活かし活動している裏見の滝公園管理委員会、ひがん花まつり実行委員会及びのだけ新茶まつり実行委員会が主催する祭り期間中の観光客の利便性を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	<ul style="list-style-type: none"> ・シャクナゲまつり期間中(4月上旬から5月上旬)の入場料徴収、駐車場等交通整理及び仮設トイレの設置を行う。 ・ひがん花まつり期間中(9月中旬から下旬)に仮設トイレ設置を行う。 ・第30回のだけ新茶まつりに対して定額補助する。 		
事業期間	平成 7 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等	大村市裏見の滝自然花苑条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① しゃくなげ祭り開催日数	計画値	36	36	36	36	開催日数
		実績値	30	31	32		
		達成度	83.3%	86.1%	88.9%		
活動指標	② ひがん花まつり開催日数	計画値	3	3	3	3	開催日数
		実績値	3	3	2		
		達成度	100.0%	100.0%	66.7%		
成果指標	① しゃくなげ祭り期間中入場者数	計画値	20,000	20,000	20,000	20,000	入場者数実数
		実績値	15,915	13,100	12,765		
	有料入場者数+無料入場者数	達成度	79.6%	65.5%	63.8%		
		計画値	10,000	10,000	10,000	10,000	主催者発表
	② ひがん花まつり期間中入場者数	実績値	25,000	12,000	25,000		
		達成度	250.0%	120.0%	250.0%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	894	1,310	1,420	2,736	1,301	1,301	1,301	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	894	1,206	1,009	477	618	618	618	
一般財源		104	411	2,259	683	683	683	
② 人件費(千円)	1,739	1,424	1,316	1,316	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.21	0.18	0.18	0.17	しゃくなげ祭り等の観光客の利便性を図る。	しゃくなげ祭り等の観光客の利便性を図る。	しゃくなげ祭り等の観光客の利便性を図る。	
時間外勤務(時間)	35	32	23	40				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	2,633	2,734	2,736	4,052				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	例年取り組んでいる委託等に加え、下記の内容を取り組んだ。 1 テレビ等の取材に対応し、市内外への周知を図った。 2 平成27年度のしゃくなげまつりで集客イベントとして写真コンテスト・ノベルティ企画を継続して実施した。 3 開催30周年を迎える「のだけ新茶まつり」に対し、補助を行い、テントめいろうアートや松原宿マルシェなどの記念イベントが行われた。
事業が抱える問題・課題等	しゃくなげまつり期間中の入場者数が減少傾向である。集客力のあるイベント企画や、PR活動計画、開催期間の見直し等が必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	観光客誘致に取り組む中で、野岳湖周辺を北部エリアにおける観光資源の拠点として位置づけている。その中で、しゃくなげ・ひがん花は重要な観光資源であり、それらを活かした祭り開催による誘客を図ることは必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	観光客誘致に取り組む中、市有地に植栽されているしゃくなげ・ひがん花などは重要な観光資源であり、市が関与することは、必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	H27年度のしゃくなげまつりは、土日の荒天の影響もあり入場者数の計画値を達成できなかった。しかし、写真コンテストの応募者は昨年より増加し、ノベルティも好評であった。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	地域ならではの観光資源を活かして、地元団体が祭りを開催することは、地域づくりの意欲向上と人材育成につながる市民協働事業である。また、入場料を徴収することで公園施設の維持管理などの財源を安定的に確保することができ、魅力的な観光地づくりを進める上で効果的である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	入場料徴収や交通整理は業務委託で実施しており、削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	歳入確保のため、入場料の見直しを検討する余地がある。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	縮小	
--------	----	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	裏見の滝しゃくなげまつり入場者数の増加を図るため、継続したPRを行う。また、集客増につながるイベント等の実施などによる充実に努める。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	裏見の滝しゃくなげまつり入場者数の増加。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。